

「I ♥ URESHINO」

新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む“Withコロナ観光まちづくり”

嬉野市未来技術地域実装協議会

P T 2

来訪者の移動を支えるモビリティサービス事業について

令和4年度事業の振り返り及び
令和5年度の事業計画について

令和5年3月3日

2月1日PT会議の振り返り

嬉野市未来技術地域実装協議会 P T 2 会議

日時：2023年2月1日（水）10:00～11:00

場所：嬉野市文化センター2階

1. 開会
2. 事業概要の説明
3. 本年度事業の振り返り、次年度の方向性について意見交換



主な意見（各自；敬称略）

- 自動運転モビリティのルート案について、既存の路線バスとの連携も意識し、バスセンターなどでの乗り継ぎに配慮した運行をして欲しい。**路線バスと自動運転モビリティが乗り継ぎできる環境であれば良い**形になる。（JR九州バス 宮脇）
- **「事業スキーム」は、次回以降の協議会、PT会議で具体的に議論していくべき。**（まちづくり嬉野 古田）
- 再耕庵タクシーでは、EVモビリティを購入した。緑ナンバー取得し、公道運行可能なモビリティとして実証運行をスタート。嬉野市からも7月からの実証の打診もあり、何かあれば協力していきたい。（再耕庵タクシー 山本）
- 新幹線開業から、**嬉野温泉駅にどのくらいの乗降があるのか？どのような方が利用しているのか？数字を明確に**して欲しい。それを理解したうえで、ビジョン、運行計画の議論となる。**需要を確認、整理したうえで、導入を検討**すべき。
- 事業スキームの中で、行政支援が必要と記載。計画時点で、収益化できないことが前提となっているのはどうなのか。
- 新幹線開業後、間違いなく来訪者は増えており、最近ではインバウンド（アジア系）も増加している。**来訪者がどのようなサービスを求めているのかを理解したうえで、提供するサービスについて議論する必要がある。**収益化する上で必要な利用需要、運行する上でのコストなどを想定し、どこを目指すのか、目標を設定するのかの議論をすると良い。人の動向調査する必要がある。（嬉野商店街協同組合 下村）
- 実証実験ルート案が示されているが、**「JRバス嬉野前交差点」は事故多発箇所**となっている。和多屋別荘の前に細い道、長崎街道があり、そこを通ることも検討して欲しい。
- その他、**観光スポットを巡回するルートの設定、イベント、催し物開催時、自由にルート設定**できるようにし、自動運転モビリティを利活用できるようにして欲しい。（嬉野温泉旅館組合 松本）

- 本事業のタイトルと概要

「I ♥ URESHINO」

新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む “Withコロナ観光まちづくり”

VR/AR技術、5G技術やAIをはじめとした未来技術の活用による
嬉野市の発展・市民の元気と継続的な成長の実践



- 内閣府事業「未来技術実装事業」に選定
- R3に計画を策定、R4～R7にかけて嬉野市事業として推進

嬉野にとっては、新幹線駅・道の駅エリア開業に合わせた追い風の事業として取り組んでいきたい

- **PT2**は、まずは協議会やPTの関係者や、嬉野市民、観光客の方々に、自動運転車両やパーソナルモビリティに触れて感じてもらうために、3日間の体験試乗会を開催しました。



PT2立ち上げのストーリー

- 2022年9月、新幹線駅「嬉野温泉駅」「道の駅うれしのまるく」が誕生!!
- 嬉野市は「新幹線開業」「道の駅開業」を誘客のきっかけ・武器にしたいと、思い馳せる
- ただ、“嬉野温泉駅”や“道の駅うれしのまるく”は、温泉街から歩くには遠い、、嬉野茶をはじめとするたくさんのお土産を運ぶのも大変で一苦労
- せっかく来ていただいた皆様をより一層満足してもらうためにも、少しでも苦労を取り除きたい。。
- 手ぶらで楽に、観光してもらい、また来たい! SNSでバズらせたい! と思ってくれる地域にしていきませんか?
- 我々はこの事業、『未来技術』が活用できる。今は、メタバースや観光動画など最先端技術で、嬉野の魅力を全国のお客様にってもらっているところ
- これから、情報発信の取組とより一層、手を組みながら新たな観光体験を考えていきませんか?

さらに盛り上げるためのお客様目線の問題

手荷物をもったまま歩きたくないな一

車で来たけど駐車場から遠いところまではいかなくていっか

旅館から遊びに行きたいけど、
気軽に出かけられる手段がないな一

もう歳だし、歩いてまわるのも大変

新幹線に乗ってきたけど、商店街まで遠いんだな一

私たち（みなさん）が掲げるコンセプト

**誰もが・気軽に・楽しく・充実した
観光体験を実感できる仕掛けづくり**

自動運転・PMに私たち（みなさん）が期待すること

**「旅マエ」に興味・期待を抱かせる手段
「旅ナカ」を便利に楽しく周遊できる手段**

①どんなお客様でも移動しやすい環境

身体的・心理的に回遊抵抗が大きいお客様でも、楽に移動できる環境を提供できます。

②嬉野市を満喫してもらえる環境

回遊性が高まれば、嬉野市を十分に堪能していただければ、満足度もぐんと上がります。

回遊性が高まれば、賑わいが生まれ、活気あふれる観光空間になります。

お客様の消費も促され、中心市街地の活性化にも繋がります。

③未来技術の活用によるインパクト

希少性・話題性のある体験を提供することで、「移動」そのものが強力な観光コンテンツとなり、新幹線開業との相乗効果が期待できます。

私たち（みなさん）は、全国に先駆けて、
新たな移動サービスの実現にむけて取り組んでいきます！

それは、“**自動運転**”による**新たな観光体験**です！

それは、“**AI対話型パーソナリティ**”による**楽な移動サービス**です！

なぜ自動運転が
必要なの？

- 人手不足の中、新幹線駅から離れた温泉街への**送迎サービス**を担う事ができ、新たな観光需要を呼び寄せることができます。
- 将来的には**デジタルサービスとの連携**も見込まれ、単なる移動手段ではない**新たな価値を持つ強力なコンテンツ**としてのポテンシャルを秘めています。
- 現時点、国内での社会実装事例は少なく、**先進地域として嬉野市が注目**を浴びます。

なぜAI対話型
自動運転PMが
必要なの？

- 今後増加が見込まれる高齢の観光客にも、**自分の判断・ペースで堪能**できる環境を支えます。
- 個々の趣味・嗜好に応じた回遊プランを提供することで、**移動の質を高める**ことができます。

実現には“担い手”“事業性”を見極めていくことが必要です。

PT2の狙い（おさらい）

自動運転を活用したおもてなしイメージ

旅マエ

- 事前に自動運転やPMの存在を知る
- 手荷物預かり、自動運転等を事前予約する

旅ナカ

- 手荷物抱えて新幹線駅に到着
- 駅の観光情報館に立ち寄り、自動運転等の存在を知る
- 自動運転を予約して手荷物を預け、自動運転に乗車する
- 市街地手ぶら移動

- 車内で**嬉野の歴史・観光を体験**する（観光案内人が同乗）
- 車内で**嬉野の景観**を楽しむ
- 車内で**嬉野の店舗情報**を知る
- 車内で**限定クーポン**を受け取る
- 車内で**アトラクション・ゲーム・AR**を体験する
- 好きな場所で**自由に降りて散策**する（追従ロボット）

旅アト

- 嬉野での観光体験をSNS等で拡散

新幹線駅周辺

道の駅



観光案内所



嬉野温泉駅



「動く観光案内・エンタメ」

オペレータ（案内人）が同乗
休日メイン



宿泊
（旅館等）

観光スポット・店舗等

令和 4 年度事業の振り返り

1. 試乗・体験会の開催
2. 動画配信によるPR
3. 公道での実証実験に向けた意向把握
4. 自動運転車両の現地視察 in 茨城県境町

試乗・体験会の目的

- ① 私たち（みなさん）の機運向上 ⇒ **自動運転に触れて・体験してみましょう！**
※ 試乗会に参加頂いた方々に実際に乗車してみた感想・印象等をヒアリングします
- ② 全国へのPR・情報発信 ⇒ **お客様の期待感をアップ**させましょう！
※ 試乗会の模様を撮影・編集し、PR用のショートムービーを作成・発信します
- ③ 技術的・法的課題の把握・検証 ⇒ **嬉野にマッチした車両を見つけましょう！**
※ 試乗会の結果を踏まえ、協議会やPT2の方々に考えていきます
- ④ 受容性・価値の把握 ⇒ **お客様のリアクションを見てみましょう！**
※ 試乗会に参加いただいた観光客の皆様にヒアリングを行います

最新の自動運転車両「NAVYA EVO」など複数のモビリティ体験

- 自動運転サービスの実証実験及び社会実装に向け、市民や来訪者の認知、受容してもらうためのきっかけづくりとして、自動運転技術「レベル4※」対応車両「NAVYA EVO」を活用した体験試乗会を実施。
- 九州地方の他地域で運行している自動運転サービスについて、VRゴーグルを活用した紹介、疑似体験も実施。



NAVYA EVO



eCOM10



ヤマハ「AR07」

「AI対話型自動運転パーソナルモビリティ」や「追従ロボット」など
最新技術を搭載した様々なモビリティ体験

- ・ バリアフリーを推進している嬉野温泉施設内、温泉街周辺の移動支援技術を体験してもらうため、久留米工業大学が産官学連携で開発した「AI対話型自動運転PM」を使用した体験試乗会を実施。
- ・ その他、佐賀大学が研究開発中のAIカメラを活用した「追従ロボット」体験など、最新技術を幅広く体験。



開催3日間で合計**237**人(関係者:114人、一般:123人)
の方々に参加いただきました

PTIと連携した開催案内&参加者募集

- 体験試乗会の開催にあたっては、チラシ作成による周知・広報だけでなく、PTI事業で作成した「LINE公式アカウント」を活用した、開催案内および参加者募集も実施。
- PTIとの連携により、開業イベントでLINE登録して頂いた方々にも広く周知できたことで、市外からも21人（一般参加の約17%）の方々に参加いただくことができました。

LINE公式アカウント
を活用した開催案内

カメラ 5G 19:06

< 1 ★ 嬉野温泉観光案内所 🔍 📖 ☰

嬉野

未来の乗り物を
一足先に体験してみませんか？

100名程度
自動運転車両等の
試乗・体験会
開催のご案内
11月19・20日の2日間！

九州初上陸！
日本にしかない
フランス製最新型
自動運転車両

高齢者に優しい！
パーソナルモビリティ

遠征ロボットも
来るよ！

試乗会の概要
日程 令和4年11月19日(土)・20日(日) 10:00-17:00
会場 嬉野温泉駅 東口駐車場 定員は150名程度
参加費 無料 100名程度

内容
① 自動運転車両への試乗 ※今回の試乗会では手動運転となります
② パーソナルモビリティへの試乗
③ 遠征ロボットの体験

※一部の試乗・体験時間は事前予約が必要となります。※試乗・体験には1日程度の乗車免許
が必要です。※お申し込みが定員を超えた場合は抽選となります。※お申し込みが定員を超えた場合は抽選となります。

試乗申込み方法 ※申込み期日 11月12日(土) ※結果は11月15日(火)までにご連絡致します

申込フォーム(WEB)からの場合 ※メールからの場合 (送信先:shijokai@fukuyamaconsul.co.jp)
以下のQRコードまたは 以下の住所をメールにご送信ください
〒840-0201 大分県大分市下中津 1-1-1 大分県観光振興局 観光課 2F ※ご希望の試乗日(19日または20日)
下記のとおりお申し込みください ※ご希望の試乗時間(10時～13時または13時～17時) ※ご希望の代表者(お申し込み者)
https://www.fukuyamaconsul.co.jp/ ②お電話(お申し込み) 0954-27-7020 ※お電話受付はメールアドレス(随時受付)を併用させていただきます

【問合せ先】嬉野市役所 観光課・まちづくり課 ☎0954-27-7020

主催 嬉野市未来技術地域実証協議会 協力 大分県観光振興局 株式会社マツカミ 大分県工業大学 福岡大学 大分県
みやま市 株式会社マツカミ 株式会社マツカミ 株式会社マツカミ 株式会社マツカミ 株式会社マツカミ

【自動運転車両試乗・体験会のご案内】

11/19(土)・11/20(日)の2日間に
九州初上陸！自動運転の試乗・
体験会(無料)を嬉野市で開催し
ます 🍁 🌈 🚗

▼ご希望の方はURLよりお申込み下さい

メニューを閉じる・開く

2. 動画配信によるPR

試乗・体験会の模様を収録した「PR動画」を作成し、現在Youtubeで配信中。

今回の試乗会含め、**PT2**に関する今後の取り組みについては、**PT1**で作成した「LINE公式アカウント嬉野温泉観光案内所」等を活用し、市内外へと発信していきます。



3. 公道での実証実験実施に向けた意向把握

- ・ 試乗・体験会后、参加者の皆さんには、「自動運転車両」や「パーソナルモビリティ」の地域受容性や、次年度に実施予定である公道での実証実験に向けて、導入車両や運行ルート意向などについて伺いました。（アンケート形式にて171票回収）
- ・ 一般参加者（嬉野市民及び観光客）に着目して傾向をご報告します。

試乗・体験会によって機運は向上!?

- ・ 自動運転車両もPMも、比較的多くの方がご存じでしたが、**実際に乗ったことがある方は殆どいません**でした。
- ・ いずれも特に安全性に懸念を抱いている方々が多かったようですが、今回の試乗会で実際に乗車してみて、**8割以上の方々が印象が良くなった**と感じています。
- ・ 今回試乗頂いた「NAVYA EVO」も「Whill」も、**スピード以外は評価が高く、「NAVYA EVO」に関しては特に外観が好評**でした。
- ・ 今回の試乗・体験会を通じて自動運転等に興味を持って頂けて、**9割近くの方がまた機会があれば乗車したい**と感じてくれています。

3. 公道での実証実験実施に向けた意向把握

今後の公道での実証実験計画の参考に

- 将来的に自動運転車両が「**本通り商店街**」を走行する事に対しては、**半数以上の方が「問題ない」**と感じている一方、約3割の方は「問題がある」「やや問題がある」と感じており、特に**低速走行による他の車両への影響や路上駐車**がしづらくなることを危惧しているようです。
- 今回実際に試乗頂いた「**NAVYA EVO**」は地域の方々からも**好評価**でした。
- その他、多くの方々から今回の取り組みに対する感謝や早期実装を望む声など、今後の取り組みを後押しするコメントを頂きました。
- 一方で、試乗会の規模・内容に対する不満や運行コストに対する懸念など、今後の課題に繋がるコメントも頂きました。
- 皆さんの貴重なご意見を踏まえながら、来年度に予定している「公道での実証実験」の企画・立案を進めていきたいと思えます。

4. 自動運転車両の現地視察（in茨城県境町）

先月の2月13日、市長および市議会議員のみなさんと一緒に、茨城県境町を訪問し、現在、同町内を「自動運転レベル2」で社会実装している自動運転車両（NAVYA ARMA）の運行状況等について視察に行ってきました。



2. 令和5年度の事業計画

1. 導入車両の検討
2. 走行ルート of 検討（体験会を7月頃に想定）
3. 公道での実証実験実施（10月頃に想定）
4. 事業スキームの検討
5. 今後のスケジュール

嬉野市の自動運転に求められる機能とは？

①快適性

いつ来ても楽しめるように、年中いつでも快適に利用できること

②輸送効率性

来訪者を待たせることなく、より多くのヒトやモノを輸送できること

③多機能性・目的性

単なる移動手段だけでなく、乗車自体に新たな価値を生み出せること

④ビジュアル性

地域に合ったビジュアルにカスタマイズすることができること

⑤柔軟性

ルート変更など、状況に応じてフレキシブルに対応できること

⑥バリアフリー

高齢者や身体障がい者の方でも利用できること

自動運転車両（主要3種）の比較評価

名称 企業	NAVYA EVO または ARMA (仏) NAVYA	AR-07 ヤマハ発動機株式会社	eCOM-10（株式会社シントウギャザー） 日本モビリティ（群馬大学）
外観・概要	 ※写真はEVO		
快適性	◎ ・実績のある信頼性の高い自動運転システムによる走行に加えて、広々とした車室空間を確保することで、快適性に優れた車両となっている。	△ ・車両側面が開放的である反面、悪天候時の運行には支障あり。幌の対策などが必要。外気温によって快適性が左右される。	△ ・車両側面が無いため開放的である反面、雨天時等の運行は不可能であり、外気温によっては快適性が損なわれる。
輸送効率性	○ ・立席を含む乗車可能人数は15名であり、輸送効率は比較的高い。	△ ・乗車可能人数は7名であり、他の車両に比べて定員が少ない。	○ ・乗車可能人数は16名であり、輸送効率は比較的高い。
多機能性	◎ ・車両フロント部分に、半透明性のモニターを表示することができ、様々な情報を車両内で収集可能である。 ・移動手段としての機能に加えて、情報提供の機能も有している。	△ ・モニターの取り付けは不可。情報提供には別途タブレット等の取り付けが必要。	△ ・特に無し
ビジュアル性	◎ ・大きな車窓で開放感があり、丸みを帯びた形状で親しみやすいデザインとなっている。	△ ・外装部が少なく塗装や装飾などの可変性は少ない。	◎ ・10車輪を有しており、外観もユニークなデザインになっている。
即応性	○ ・高精度地図の作成といったマッピング作業が必要。 ・予めデータを作成していれば切り替えは可能。	○ ・電磁誘導線の敷設があれば可能。	○ ・高精度地図の作成といったマッピング作業が必要。 ・予めデータを作成していれば切り替えは可能
バリアフリー	◎ ・乗降口の段差をなくすノンストップバスの機能も有しており、交通弱者に対応した設備を搭載している。	△ ・車椅子の方は乗車できない。	◎ ・オプションとして車椅子用リフターを搭載可能であり、車椅子の方でも乗車可能である。

嬉野市で求められる機能を踏まえると、「NAVYA」が一番マッチしそうです。

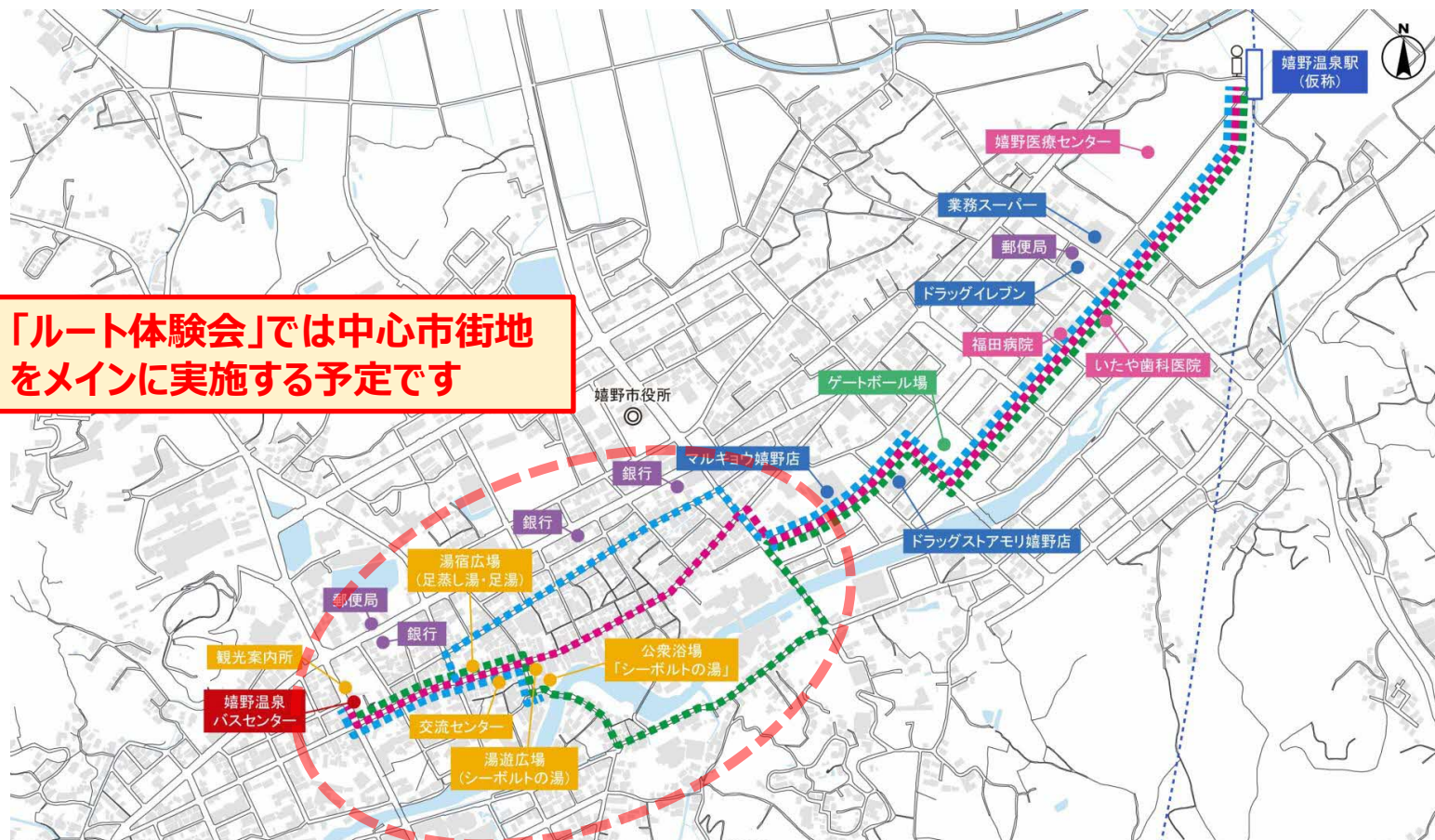
自動運転車両（主要3種）の特徴

名称		NAVYA EVO または ARMA	AR-07	eCOM-10（株式会社シントウギャザー）
企業		（仏） NAVYA	ヤマハ発動機株式会社	日本モビリティ（群馬大学）
外観・概要		 ※写真はEVO		
		・NAVYA社開発の車両 ・2020年7月発売 ・運転席無しの車両 ・レベル4に対応 ・高精度地図やセンサー類等で走行	・ヤマハによるゴルフカートを公道転用 ・自動運転でないグリスロでも各地で活躍中 ・レベル2対応 ※産総研改造車によるレベル3も実装 ・電磁誘導線上的のみ走行 ・磁気マーカでの走行車両もあり	・自動運転でないグリスロでも各地で活躍中 ・日本モビリティが改造
車両諸元	寸法(mm)	4,780×2,100×2,670	3,960×1,355×1,840	4,995×2,000×2,425
	車両重量(kg)	2600	590	1,650
	乗車人数(人)	15	7	16
	最高速度(km/h)	25（推奨速度 18km）	19（自動運転 12km/h）	19
	航続距離(km)	200	-	45
	稼働時間(h)	9	-	-
	最小回転半径(m)	4.5	1.13	6
	燃料・エネルギー	・バッテリー（容量33kwh）	・バッテリー/リチウムイオン電池 ・バッテリー容量/24V・11.5Ah	・バッテリー／容量52V,100Ah ・ソーラーパネル／出力600W(150W×4)
自動走行技術		・RTK-GPS、SLAM、オドメーター、慣性計測装置による位置認識 ・LiDARによる障害物認識 ・信号情報連携	・電磁誘導線による位置制御 ・RFIDタグによる加減速、停車等の制御 ・LiDARによる障害物認識	・GNSS、LiDAR（高精度3次元点群）による位置認識 ・LiDARによる障害物認識 ・全方位カメラによる信号認識
運行実績		◎ 東池袋（東京都）（※ARMA） - さいたま新都心（埼玉県）（※ARMA）	◎ みやま市（福岡県） - 永平寺町（福井県） - 上小阿仁村（秋田県）	◎ 大分県（大分市） - 八丈島（東京都）

ルート体験会の開催 (R5年7月予定)

- 来年度予定の公道上での実証実験に向けて、具体的な走行ルートを決めていく必要があります。
- そこで、まずは走行時のメリットやデメリットを具体的にイメージするため、実証実験前に「ルート体験会」を開催する予定です。
- 「ルート体験会」では、走行ルートを複数設定し、協議会関係者のみなさまに乗車して頂きます。

「ルート体験会」では中心市街地をメインに実施する予定です



3. 公道での実証実験実施

公道で実証実験を行う目的

- **どのような問題が生じるかを確認・共有して、解決方法を考えましょう。**
- **地域住民や観光客の方々がどのような反応・評価をするか確認しましょう。**
- **どのような効果が、どの程度期待できるか考えましょう。**

実施内容（案）

項目		自動運転	PM
対象		協議会およびPTの関係者	
		観光客・地域住民 (※2022年度同様に事前受付（＋当日受付も要検討）)	
実施時期・期間		10月を想定 (※9月末の新幹線開業1周年記念イベント後)	
実施場所	屋外	公道（新幹線駅～中心市街地） (運行ルートは体験会等を踏まえ決定)	新幹線駅西口の歩道・広場
	屋内	—	(次年度以降)
導入車両		NAVYA EVO または ARMA	Whill、または PARTNER MOBILITY ONE
導入台数		1台	1台

PARTNER MOBILITY ONE

PARTNER **M**OBILITY — ONE —

特別な感動を、大切な人と

Le DESIGN



久留米工業大学
KURUME INSTITUTE OF TECHNOLOGY



PERSOL

「Partner Mobility One」は、観光地や大型テーマパーク、公園、ショッピングモール、空港、駅、医療介護施設などで利用可能なベンチ型（3人乗り）の次世代自動運転モビリティです。

3、4人で同時に乗車でき、音声ガイドやVR、MR、AR、プロジェクションマッピングなどと連動した新たな観光ガイドを行うこともできるため、観光地での特別な感動を、大切なご家族やご友人と一緒に楽しみいただけます。



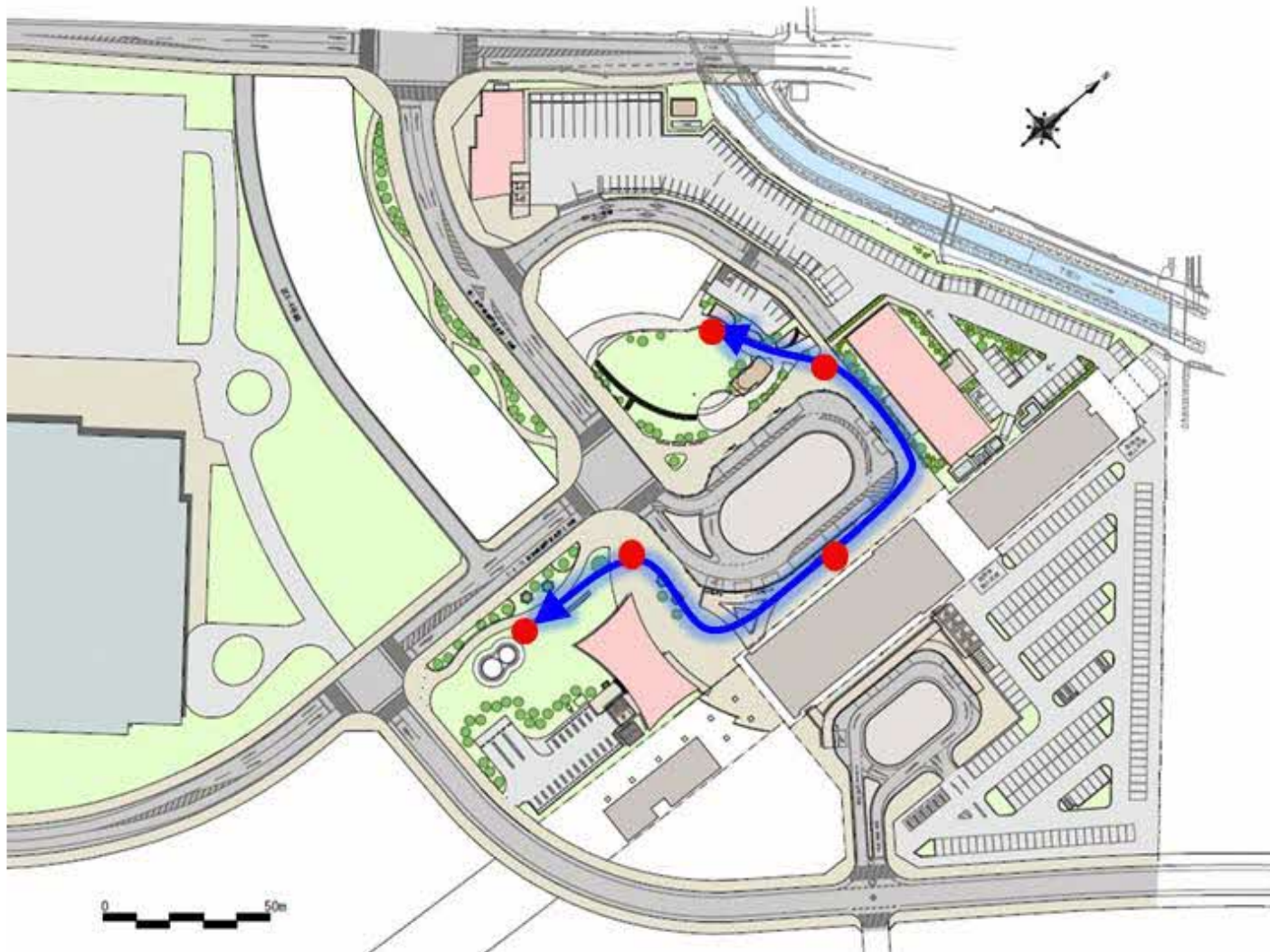
【お問合せ・導入のご相談】

Le DESIGN株式会社
(久留米工業大学発ベンチャー)
メール：iml@kurume-it.ac.jp



PM走行ルート(案)

嬉野温泉駅西口の歩行空間を活用し、「まるくアイズ」や「手湯足湯」、「公園」などの主要箇所を結ぶルートを走行します。



自動運転走行ルート(案)

<公道(嬉野温泉駅～中心市街地)>

具体的な走行ルート・時間帯については、ルート体験会(7月頃を想定)等を通じて、関係者の方々のご意見も踏まえながら検討していきます。



市街地に関しては、固定ルートではなく**自由ルート**も想定

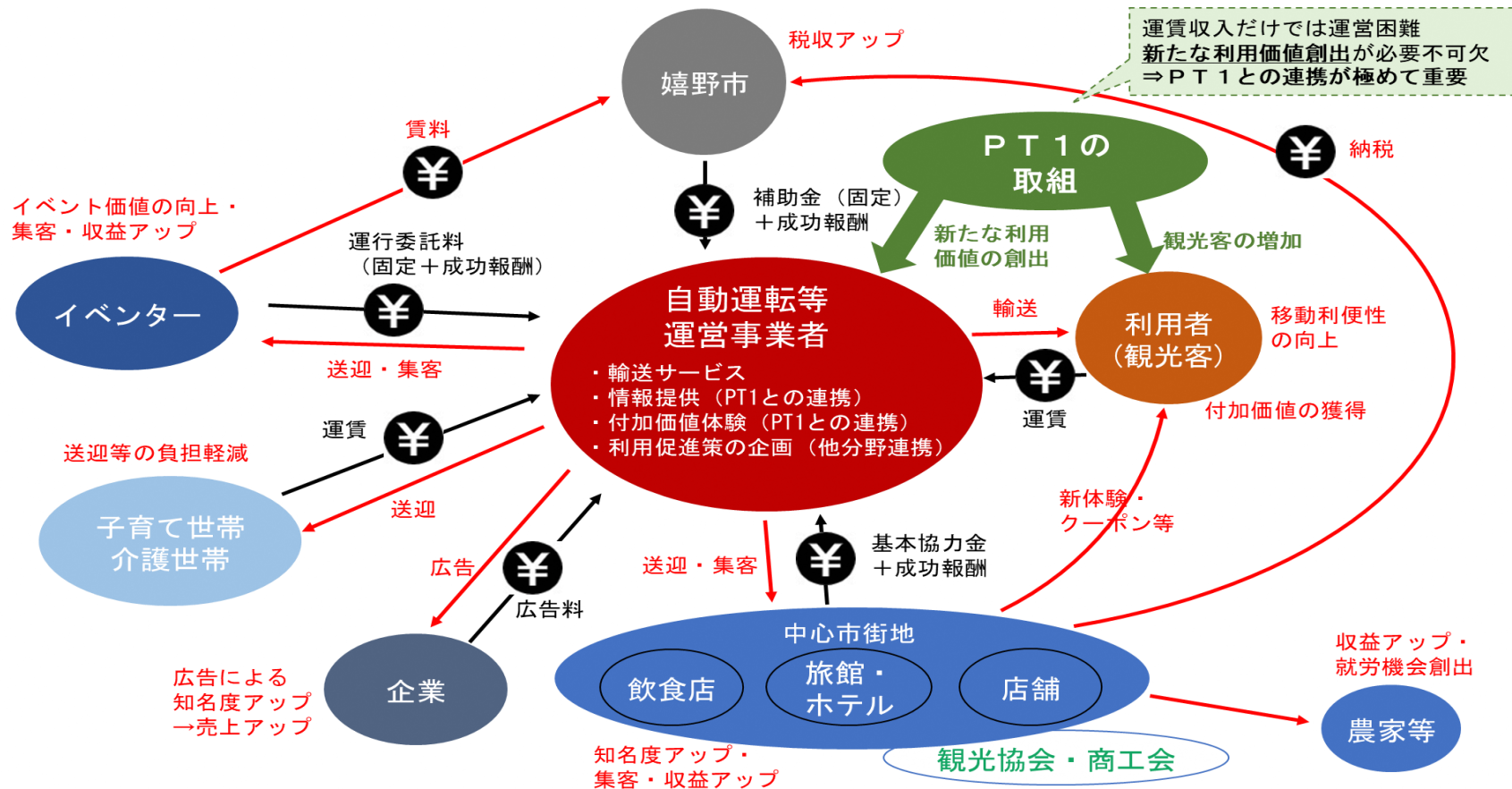
「嬉野温泉公園をメインとした桜巡りコース」
「市街地と肥前夢街道連絡コース」 など

4. 事業スキームの検討

事業スキーム案

- モビリティサービスは、**一定の行政支援**を前提としつつ、運賃収入だけでなく、**運営事業者の創意工夫によって運賃外収入を確保し**、収益性の向上を図る運用スキームを想定しています。
- 視察を行った茨城県境町のように、「**企業版ふるさと納税**」を活用する事も考えられます。
- 新たな利用価値の創出には、**魅力発信環境づくり事業 (PTI) との連携が必要不可欠**です。

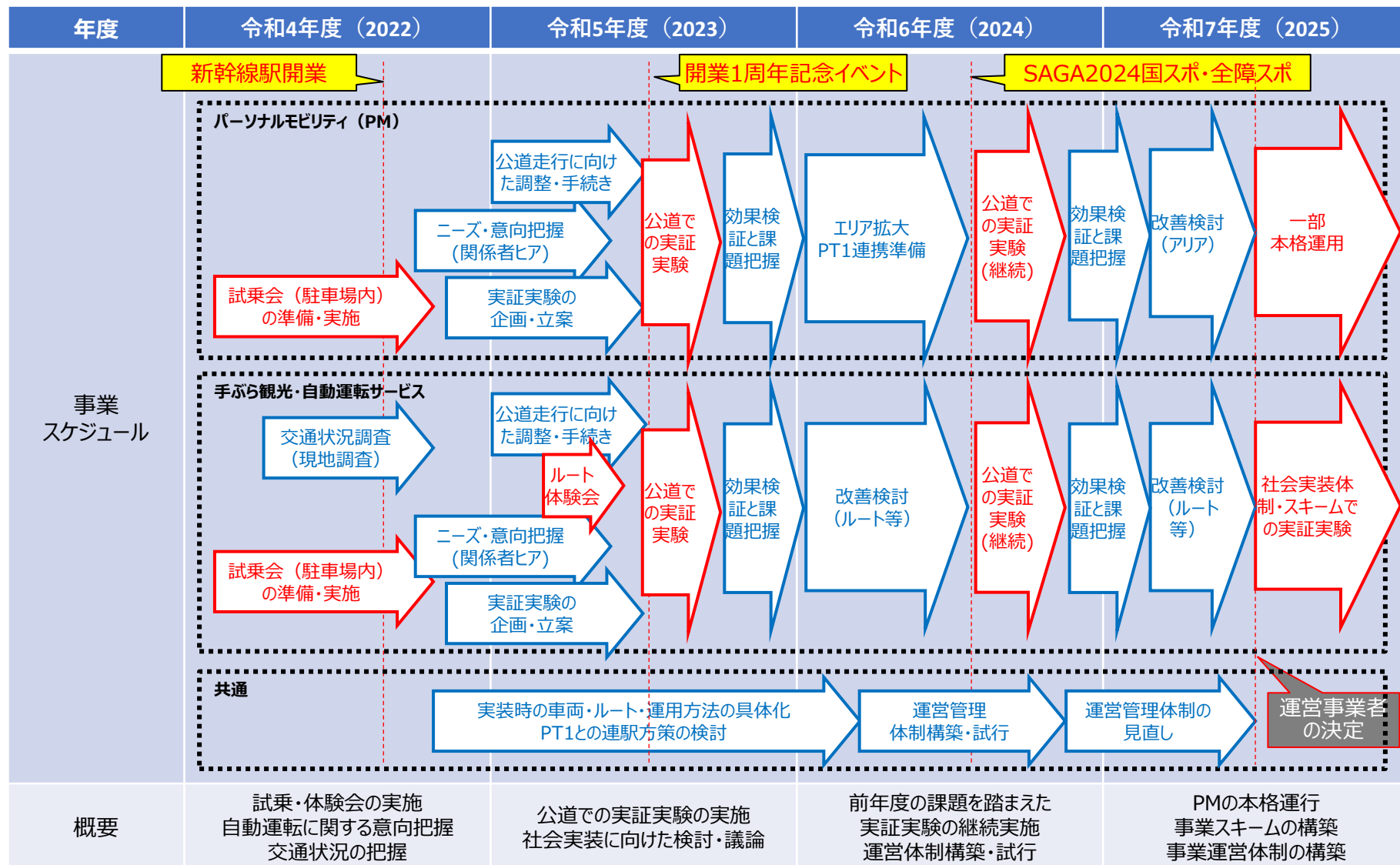
⇒PTIとの一体的な事業運営が効果的かつ効率的



5. 今後のスケジュール

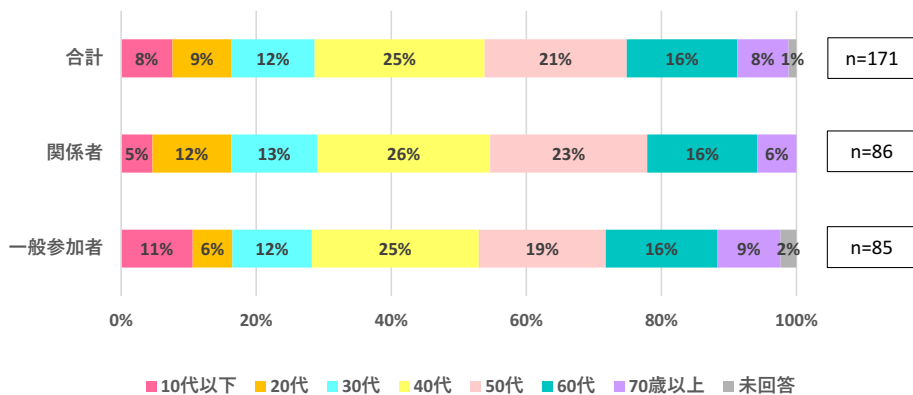
26

PM・自動運転ともに、R4年度は駐車場敷地内での試乗会にとどまりましたが、R5年度は社会実装を想定した公道での試運転・試乗会を行い、運行上の課題や地域受容性について把握していきます。経済的にも自立した事業となるよう、事業スキームやリスク分担について議論・共有を図ります。

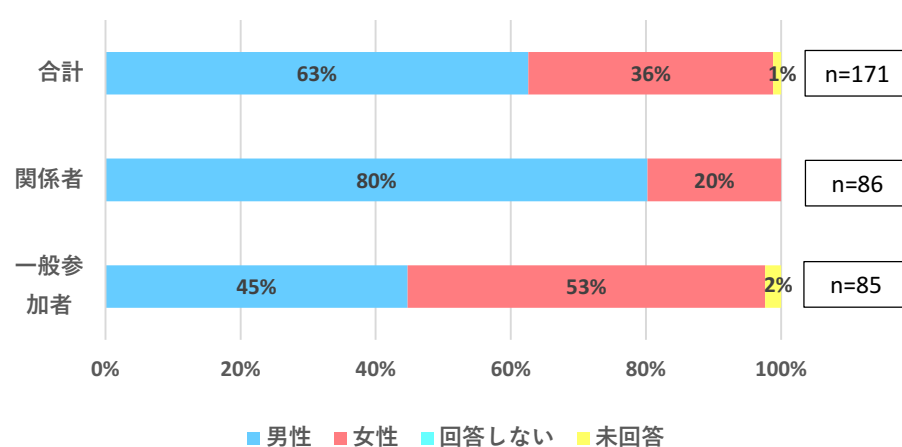


1. 回答者属性

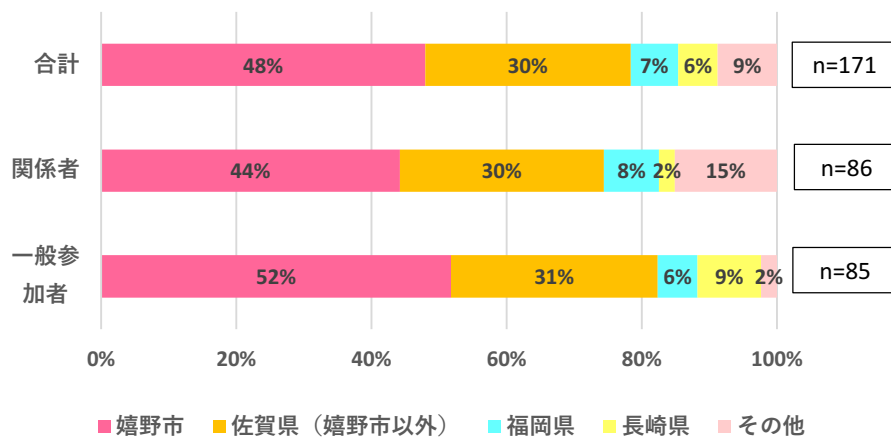
年代



性別

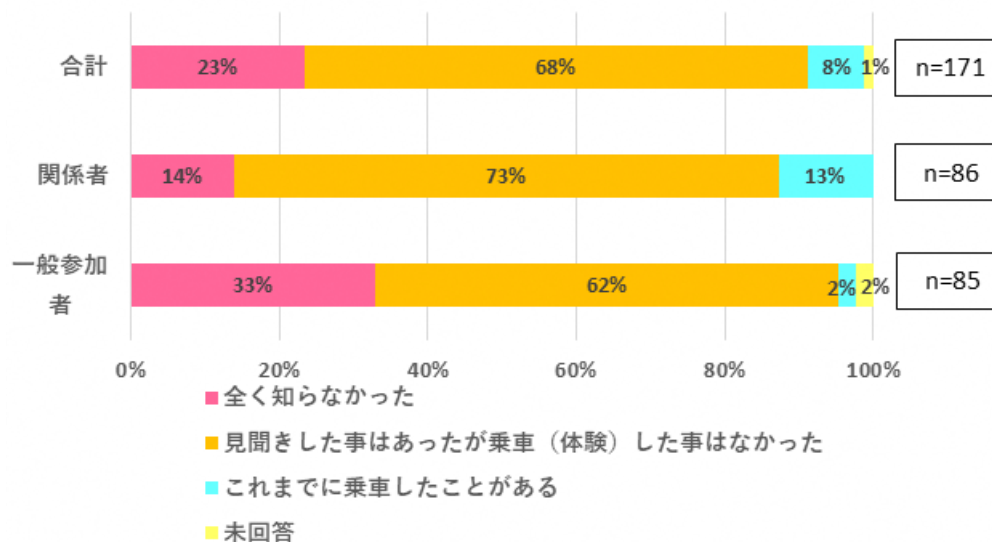


住まい

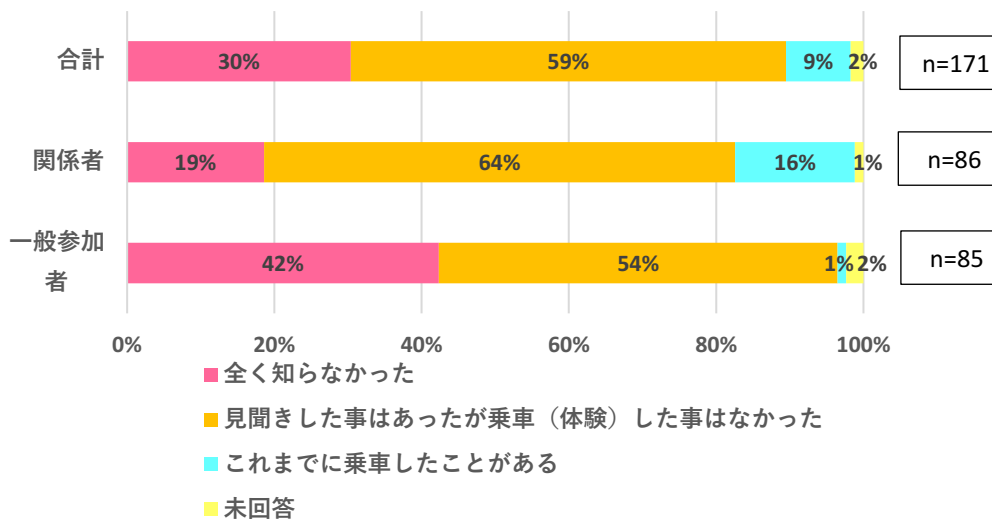


2. 自動運転の認知・利用状況

乗合タイプ

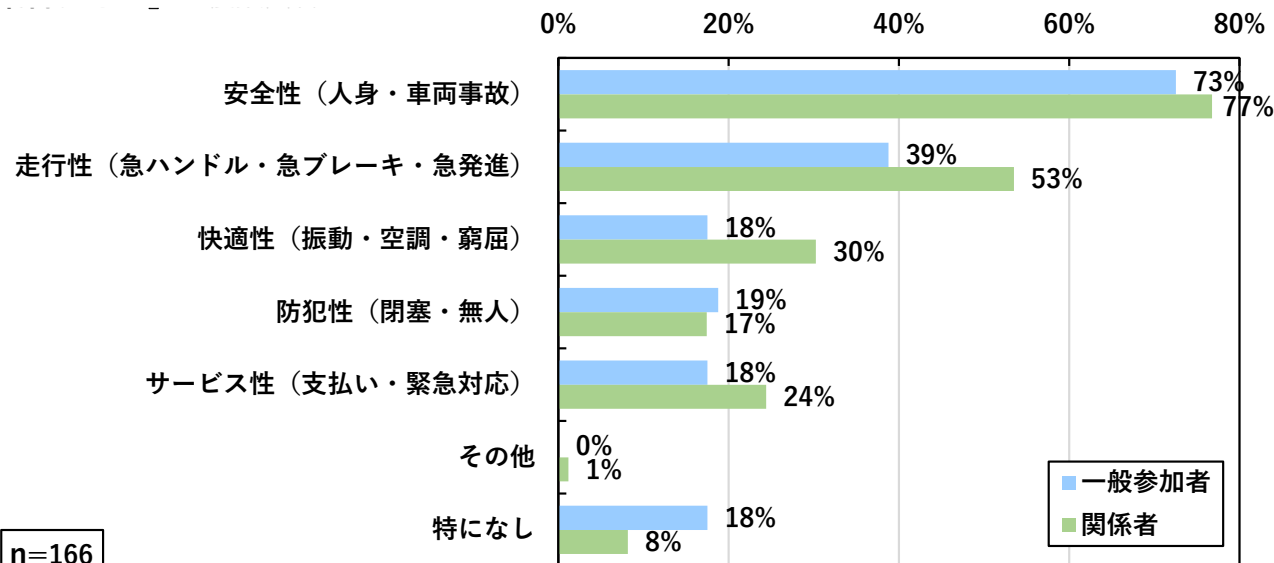


車椅子タイプ

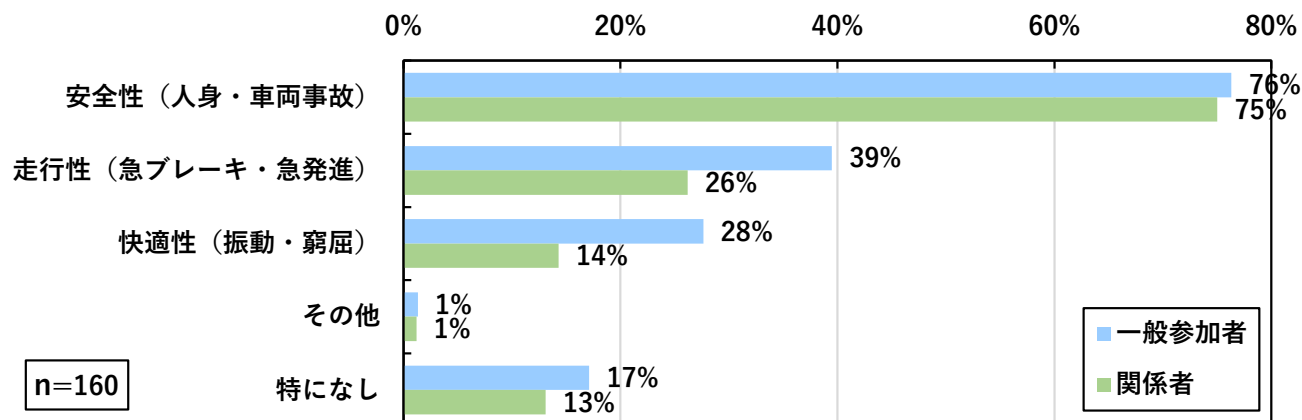


3. 試乗前に抱いていた自動運転車両への懸念

乗合タイプ

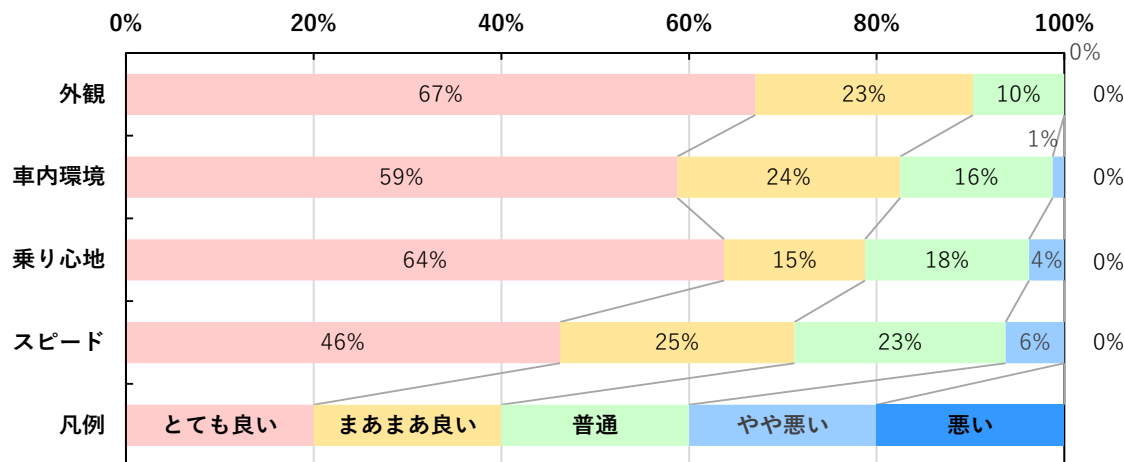


車椅子タイプ

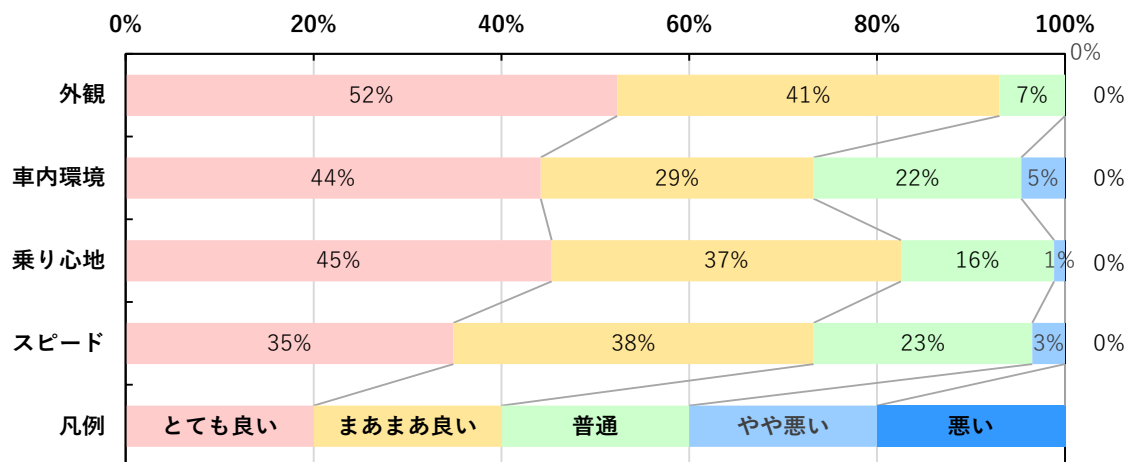


4. 試乗後の「NAVYA EVO」の感想

一般参加者

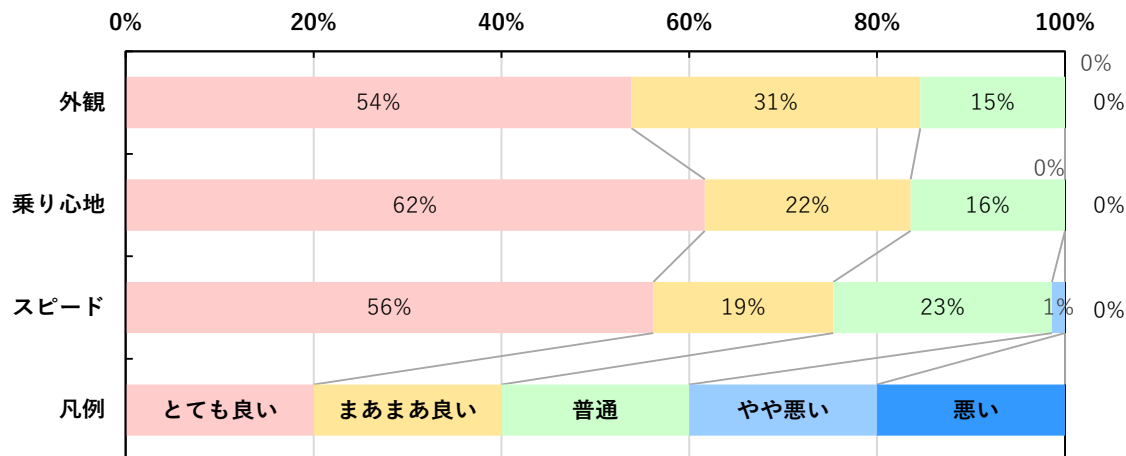


関係者

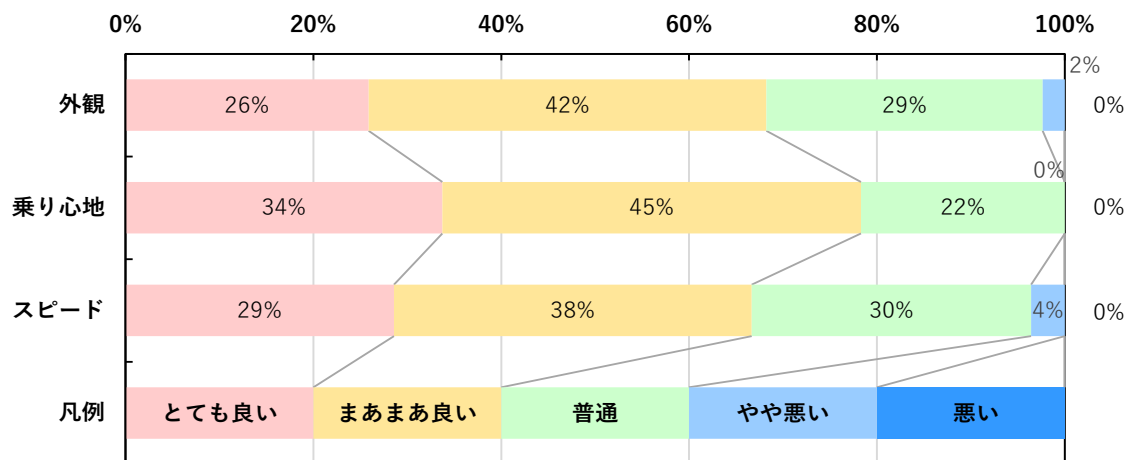


5. 試乗後の「Whiii」の感想

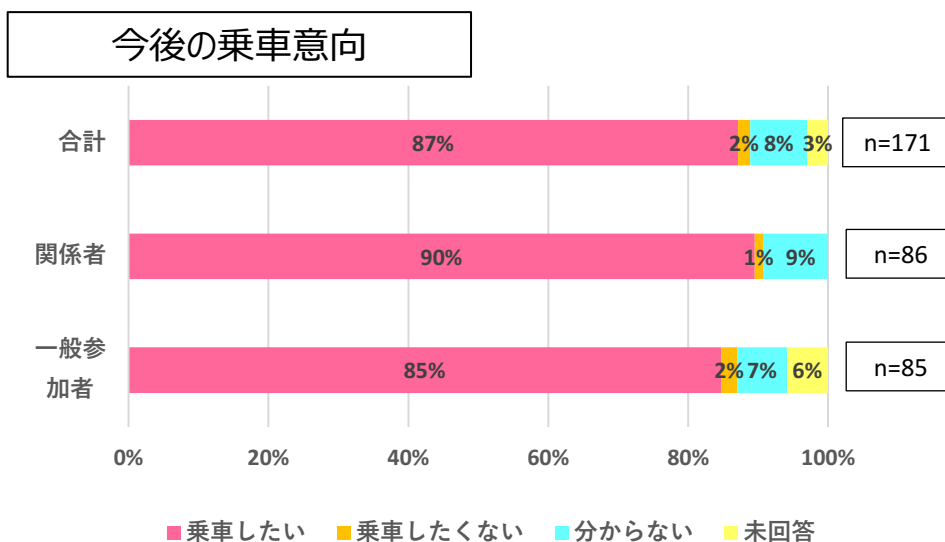
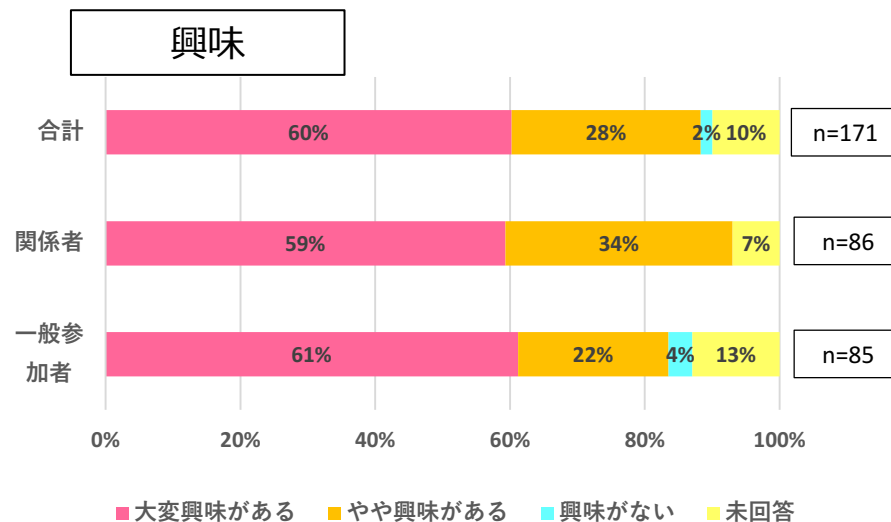
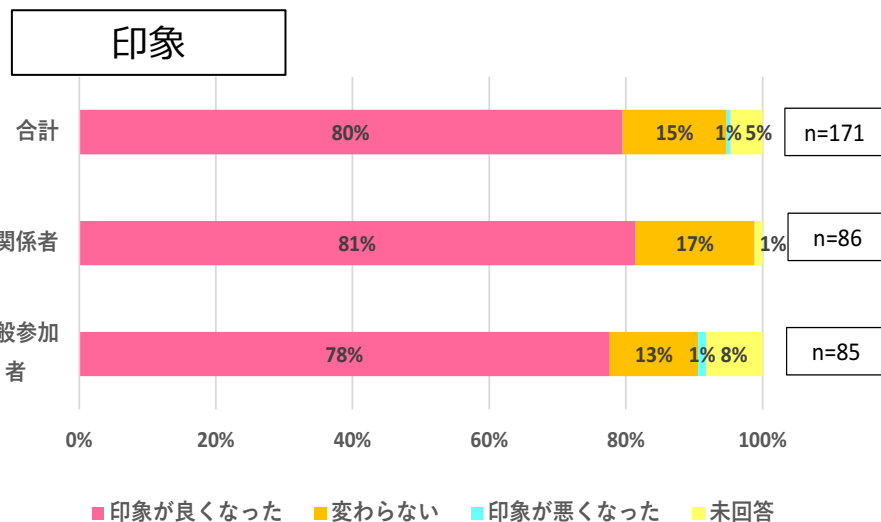
一般参加者



関係者



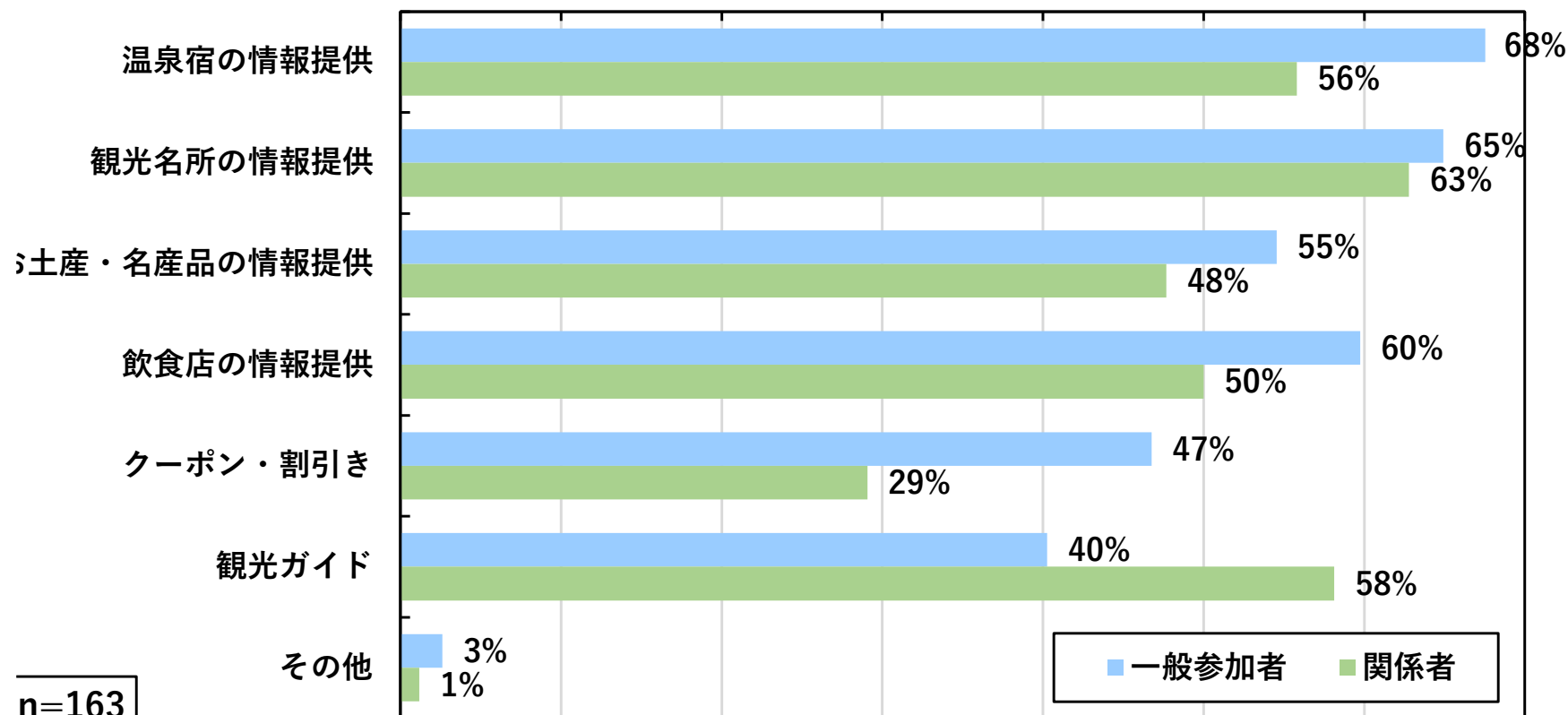
6. 自動運転車両への印象・興味



7. 自動運転車両に求める付加価値

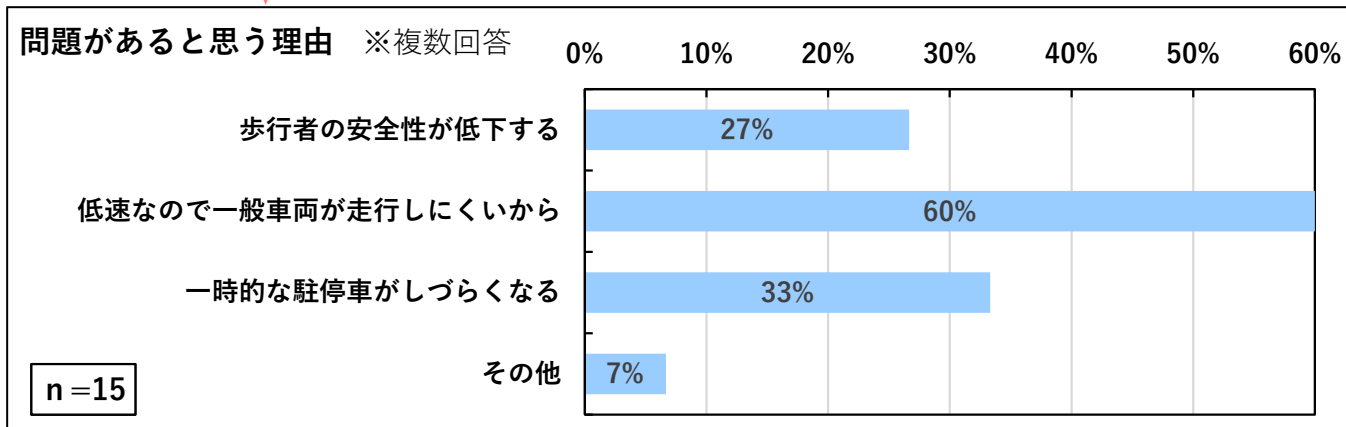
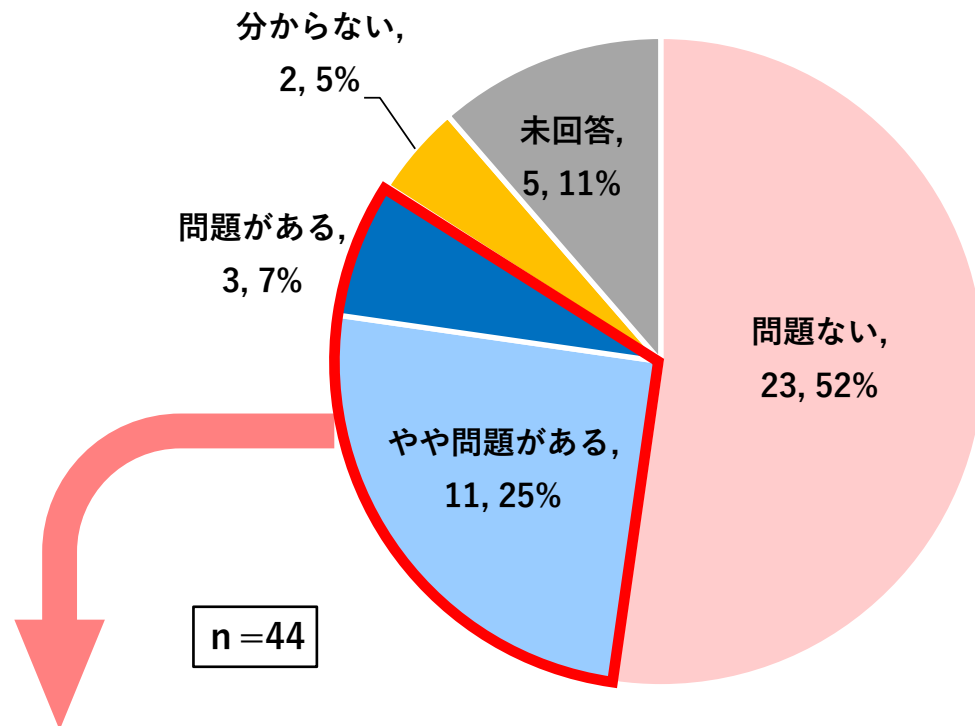
【自動運転車両のサービス】 ※複数回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%



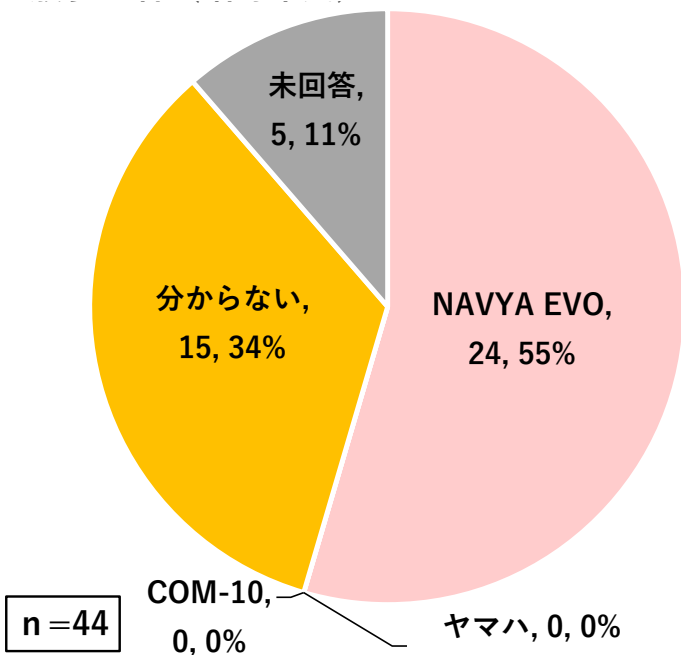
n=163

8. 「本通り商店街」の走行に対して（嬉野市民のみ対象）

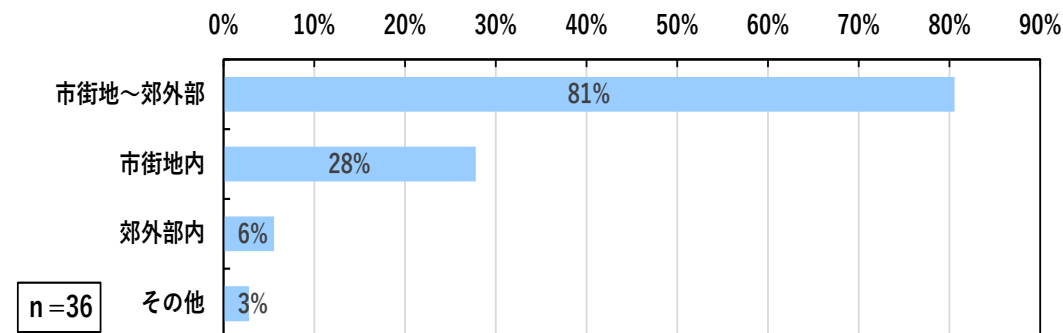


9. 嬉野市での導入車両・運行エリア（嬉野市民のみ対象）

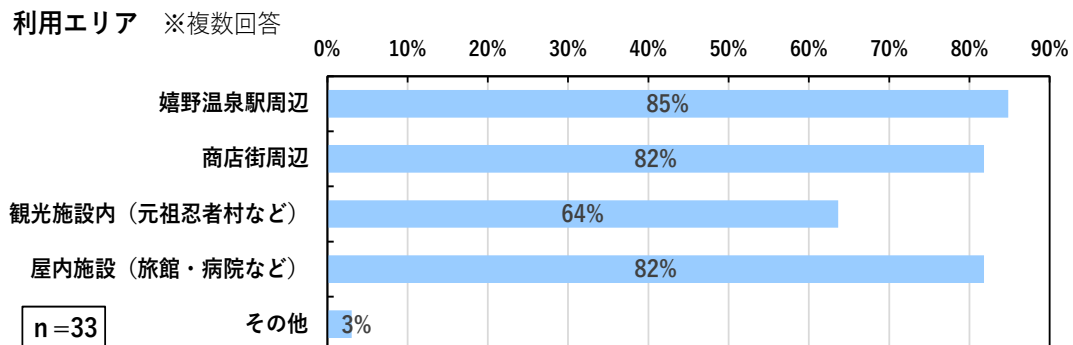
自動運転車両



運行エリア（乗合タイプ）



運行エリア（車椅子タイプ）



10. 自由記述（主なご意見）

ポジティブ（今後への期待）

- 是非とも**無人走行を実用化**してほしい。
- 今後**このような取り組みは**大事なことだと思います。
- コミュニティバスなど**様々な場面で活躍する未来**を期待しています。
- 市民の**理解を得てスムーズに導入**できるといいなと思います。
- **小学校に直接行って開催**してほしいなと思いました。
- **公道を走る**ようになる日を待っています。

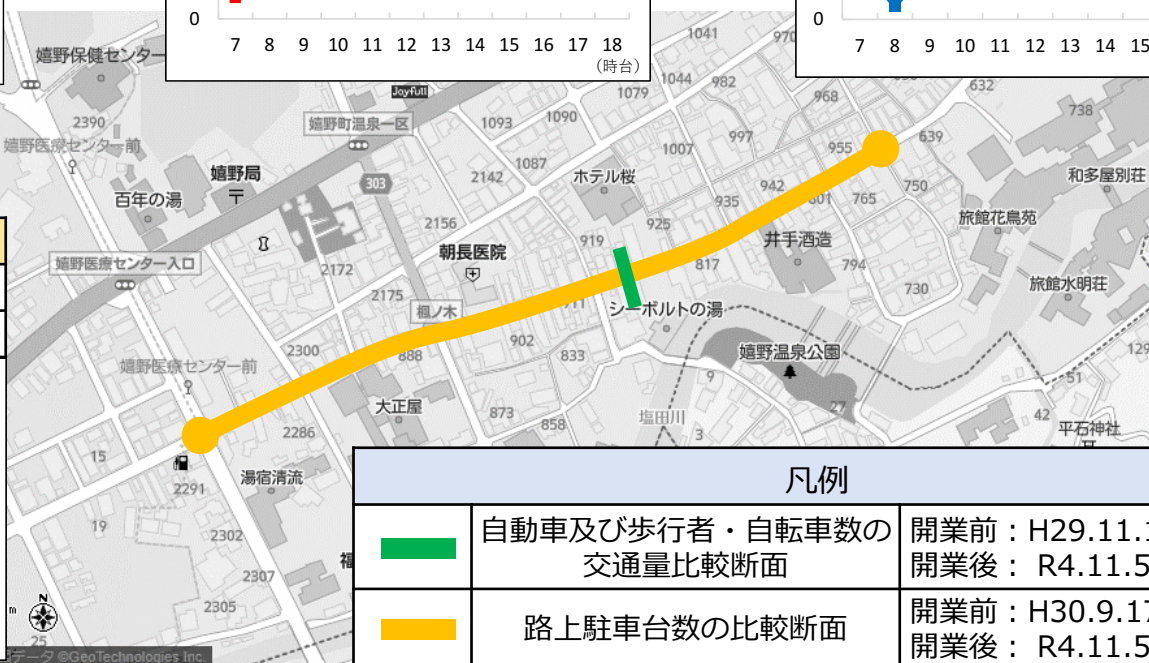
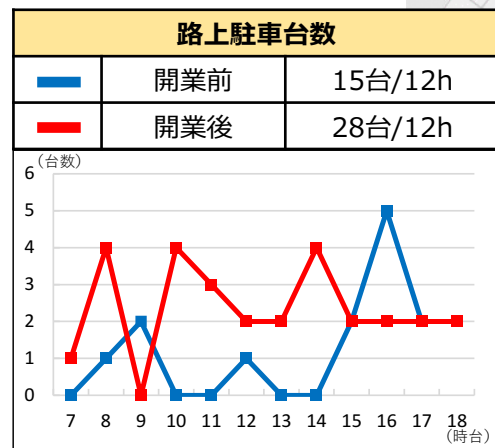
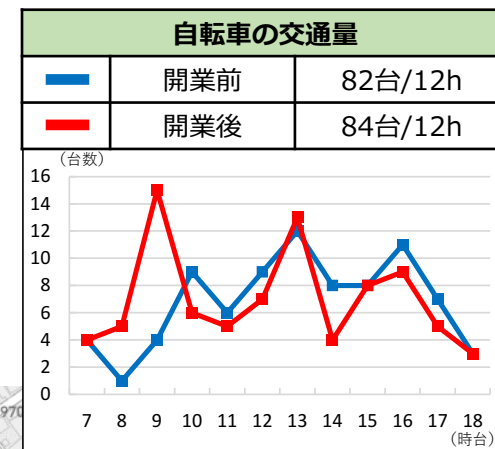
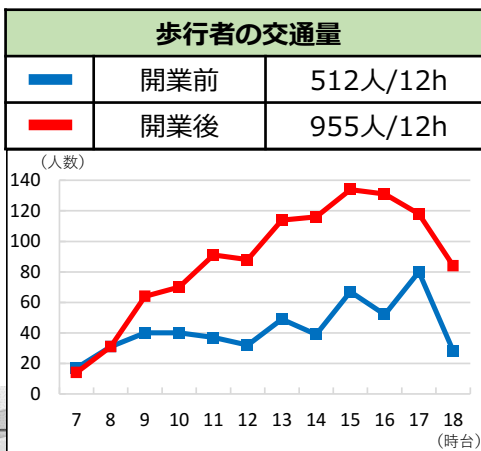
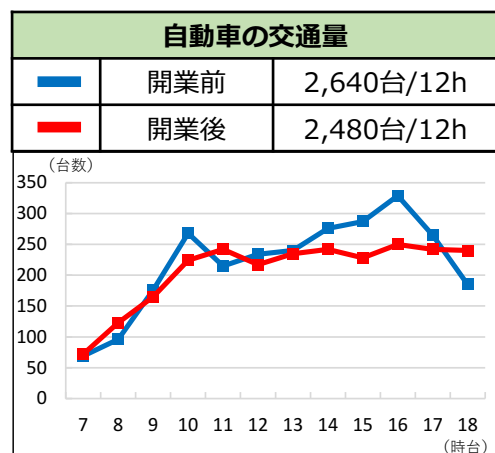
ポジティブ（今後の課題）

- **料金設定や支払い方法**がどうなるか気になります。
- **マネタイズ**が重要。
- 公道走行可能にする為の**法整備**が重要。
- **地域と一体化した運用**ができればいいですね。
- **外向きの情報発報**などの考えが聞きたい。
- 利便性だけでなく**安全であることが分かる情報**も発信してもらいたい。

ネガティブ（主に試乗会に関して）

- **極めて狭い範囲をコントローラーで操作するのみ**で期待外れだった。
- **自動運転しているところ**も見てみたかったです。
- **障害がある所の走行**を見たかった。

- 本通り商店街では、新幹線開業前後で、歩行者の通行量が約2倍に増加しており、新幹線開業の影響が伺える。なお、自動車や自転車の交通量に大きな変化はない。
- また、路上駐車は正午前後の時間帯において増加が見られる。



サービスモデル（他地域の事例①：茨城県境町）

【国内初】自治体における 自動運転バスの公道における定時運行

- 場所：茨城県境町
- 期間：2020年11月26日～

概要

車両

製造元：NAVYA 社 ARMA
●定員：11人
●走行速度：15km/h程度

車両の調達

委託契約で手配（所有者はマクニカ）
委託契約料をふるさと納税等から捻出

台数

3台

道路運送法

無し（無償運行）

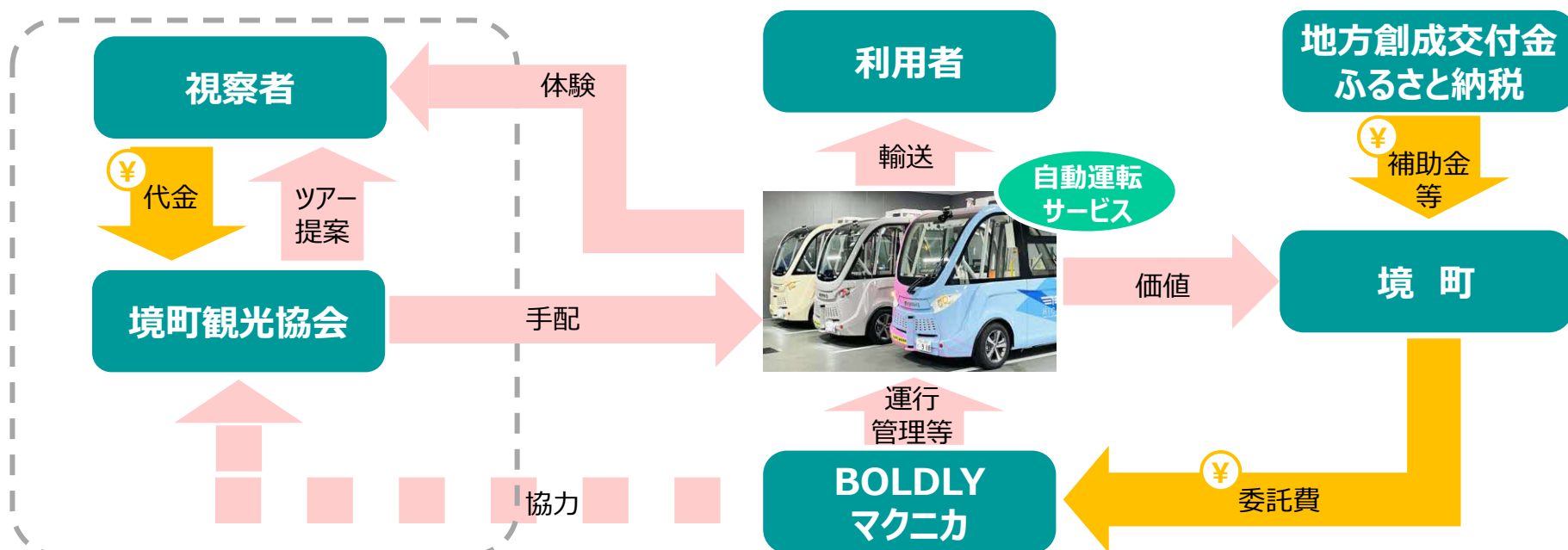
運行主体

境町

その他

自動運転バスの運行管理：BOLDLY
車両メンテナンス等：マクニカ

事業スキーム 町内の回遊性の向上・人口増加や地域活性化の促進



●運賃収入以外の収益確保の工夫点：地方創成交付金、ふるさと納税の税収を活用

サービスモデル（他地域の事例②：秋田県上小阿仁村）

概要

自動運転サービスの技術面やビジネスモデル等に関する実験結果を踏まえ全国初の本格導入を実施した地域

- 場所：秋田県上小阿仁村道の駅「かみこあに」
- 期間：2019年11月30日（土）～

車両

製造元：ヤマハ発動機（株）
●定員：7人
●走行速度：12km/h程度

車両の調達

電磁誘導線を含みSIP事業予算により調達（自治体に譲渡予定）

台数

1台

道路運送法

自家用有償輸送（200円/回）

運行主体

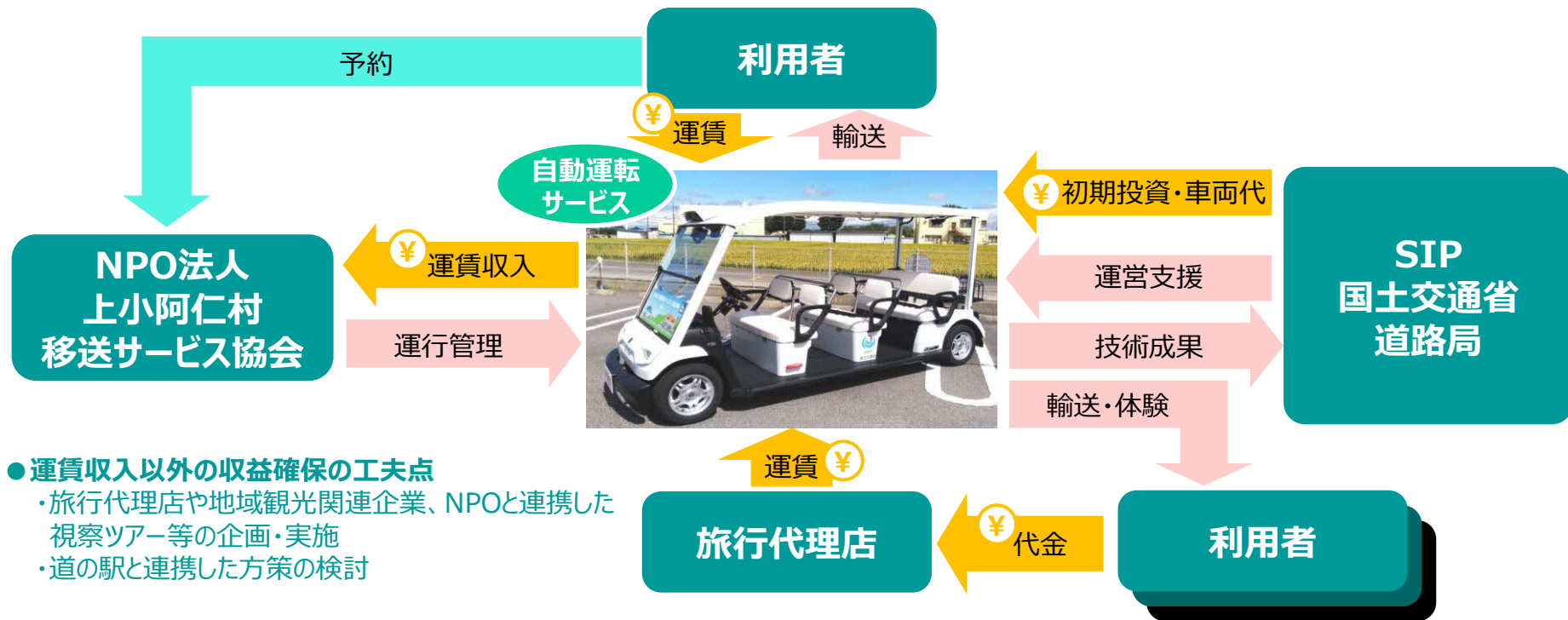
NPO法人上小阿仁村移送サービス協会

その他

—

事業スキーム

- ・中山間地域における高齢者等の移手段の確保
- ・有償ボランティアによる生きがいづくり



サービスモデル（他地域の事例③：沖縄県北谷町）

概要

全国初の自動運転車と路線バスの連携による
運行システムの検証実験

- 場所：沖縄県北谷町
- 期間：令和3年3月31日～

車両

製造元：ヤマハ発動機（株）を産総研が改造
●定員：7人
●走行速度：12km/h程度

車両の調達

電磁誘導線を含み経産省事業で調達
（所有者は産総研）

台数

2台（遠隔監視・操作）

道路運送法

無し（無償運行）

運行主体

北谷タウンマネジメント&モビリティサービス合同会社

その他

—

事業スキーム 海外からの観光客や高齢住民の移動手段の確保や観光地の活性化

利用者

輸送

自動運転
サービス



運行・
遠隔監視

北谷タウンマネジメント&
モビリティサービス合同会社

※エリアマネジメント組織での運営

●運賃収入以外の収益確保の工夫点：車内広告収入等で補填予定

2020年度まで

¥

初期投資・車両代

運営支援

技術成果

経産省
（産総研）

¥

広告費等

企業・団体